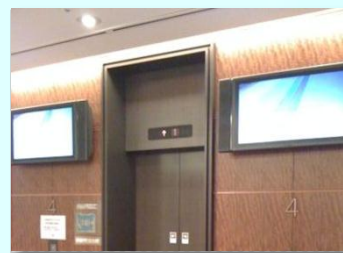
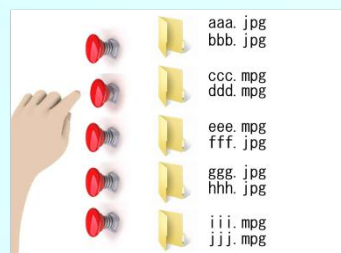
可能性が広がる。夢が広がる。世界が広がる。用途が広がる。

BP8は、画像ファイルを自在に指定再生できるプレーヤーです

BP8は外部機器から簡単に再生ファイルが指定できるメモリ画像プレーヤーです。接点ボタンやシリアル通信で、パソコン、シーケンサなどの上位装置から、SDカード内のファイルやフォルダを指定して瞬時に再生することができます。これまで、高価な装置でしか実現できなかった表示システムがきわめて安価に実現できます。特に、交通表示システムや、展示案内システムなどの複雑なシーケンスが必要な場合も、Playlist再生モードを活用すれば、驚くほど簡単に動画・静止画のハンドリングが可能になります。

要求仕様を実現する3つの再生プログラムモード

①基本再生モード

SDカード内の動画・静止画の順次再生を行います。タイマーによるON/OFF制御ができるので、店舗やエレベータなどのデジタルサイネージに最適です。

②簡単5ボタン画像切替モード

外部からの接点信号(5点)により、SDメモリ内の再生フォルダの指定ができます。接点数(指定フォルダ数)は5個となります。
接点信号を短絡(ボタンを押す)と、接点に対応したフォルダ内のファイルが順次再生されます。

③Playlist再生モード

外部からのシリアル信号(RS232C)や接点信号(最大48点)から割り込み番号を入力することで、再生ファイル指定をプログラマブルに行うことができます。Playlist再生モードは、再生ファイル毎に複数の割り込みジャンプ先を指定できます。たとえば同じ割り込み番号でも、A.mpg再生時とB.mpg再生時では 違う動作を定義できます。この機能を駆使することで、きわめて多彩で複雑な再生ファイル指定が簡単にできるようになりました。
記述は簡単なマトリックスプログラム方式により、ファイル毎に多彩な割り込み・GOTO指定が可能なので、思い通りの動作が簡単にプログラミングできます。プログラムファイルはplaylistとしてSD内に保存します。

パソコンやシーケンサの接点ポートやRS232Cポートで、割り込み番号が発行できます。

playlistは
映像再生後の動作を4つのコマンドで制御する
とてもシンプルなプログラムです。

映像再生後のコマンド

LOOP ・・・ 次の入力まで同じ映像を繰返し再生します。
GOTO ・・・ 映像再生後指定されたブロックに移ります。
STOP ・・・ 次の入力までコンテンツの最後を出力し続けます。
BACK ・・・ 再生した映像の前のブロックに移ります。

playlistファイルの例

	A	B	C	D	E	F
1	!BLCV1					
2	#電源オンでMAIN ブロックへ					
3	TOP	MAIN				
4	#利用キー番号					
5	BLC_KEYS				11	12
6	#ブロック記述開始					
7	MAIN	main.mpg	LOOP		BLO1	BLO2
8	BLO1	rose.mpg	GOTO	MAIN	BLO2	BLO3
9	BLO2	lily.mpg	STOP			MAIN
10	#再生完了まで何もキーを受け付けない					
11	BLO3	cosmos.mpg	BACK			

(※1) BPOPERでは接点入力48シリアル入力で最大250の入力が可能です。

playlistプログラムの流れ

コントローラー用playlist.iniであることの宣言
↓
電源投入後の動作を定義します。"MAIN" 行を指定しています。
↓
11番、12番、ポートからの入力があることを定義します。(※1)
↓
入力があるまで" main.mpg" を繰返し再生します。
- 11番入力 → " rose.mpg" 再生し、終了後 " MAIN" 行に移ります。
  - 12番入力 → " cosmos.mpg" 再生し、終了後、前の命令（BLO1行）に戻ります。
  - 11番入力 → " lily.mpg" 再生し、最後の内容を出力し続けます。
- 12番入力 → " lily.mpg" 再生し、最後の内容を出力し続けます。
  - 12番入力 → 入力があるまで" main.mpg" を繰返し再生します。

画像出力I/F

HDMI・アナログRGB・コンポジット出力に対応します。パソコン用モニターや、液晶テレビ、産業用モニターなどに映すことができます。

映像出力フォーマット

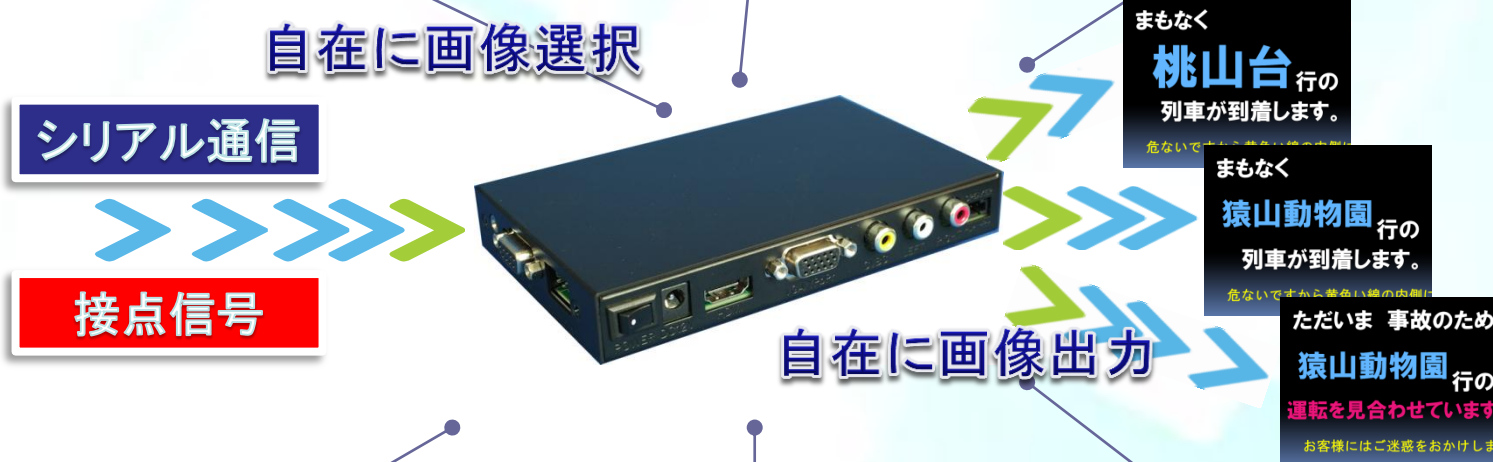
動画(MPEG1/2 480P)
静止画 (JPEG) 音声(WAV,MP3)
●出力規格
HDMI(480P 720P 1080i 1080P)
RGB(640x480,1280x720)

外部コントロール機能

BP8の最大の特徴は、この外部コントロール機能です。このポートにシリアル信号や接点信号を入力して画像を自由自在に選択します。

シリアル通信

接点信号

自在に画像出力

電源機能

標準の12V(ACアダプタ)電源に加えて、抜け防止の8～18Vの組込用電源入力端子を用意。内部タイマー連動の電源再出力機能で、モニター電源のON/OFF制御も可能です。

オーディオ出力

2Wx2Wのスピーカアンプ内蔵なのでアンプ無スピーカーの接続が可能です。もちろんライン出力もあるので、アンプ付スピーカーで大音量も可能です。

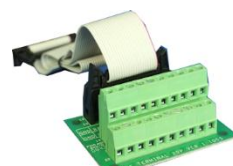
メモリカード

SD/SDHCとUSBメモリが利用できます。メモリに画像を転送してセットするだけで、すぐに再生がスタートします。

●外部コントロールシステム構成例

●簡単5ボタン／Playlist 9ボタン(接点)のオプション構成例

BP8B-PL1

BP8-DB9-IDC20P
ポート変換コネクタ

BLC-TERMINAL-20P
接点接続ターミナルブロック

ポート変換コネクタは、BP8のコントロールポートに接点信号を入力するために必要です。ターミナルブロックは必要に応じてご利用ください。スイッチボックス等はユーザー様でご用意ください。

●Playlist 48ボタン(接点)のオプション構成例

BP8B-PL1

市販のストレート
RS232Cケーブル

BLC2 + BLC-TREMINAL-20P
接点増設ユニット

BLC2は、接点信号を48個まで拡張するユニットです。ターミナルブロックは必要に応じてご利用ください。

●Playlistモード シリアル接続のオプション構成例

BP8B-PL1

BP8-CNT-SERIAL
専用シリアルケーブル

パソコン
シーケンサ等

パソコン・シーケンサー・ＰＬＣなどのシリアルポートから制御する場合は、専用シリアルケーブルをご利用ください。

●外部コントロール無し・スタンドアローン

BP8を単純繰り返し再生で運用する場合には外部機器は必要ありません。SD内部のファイルを順次再生します。

再生解像度に関する注意事項
●再生できる動画はDVD解像度の720x480までです。HDやFHDには対応していません。
●静止画については、選択された出力インターフェイスに合わせた解像度にリサイズして出力します。最高解像度は1920x1080となります。

●主な仕様

商品型番	BP8B-PL1
外形サイズ	146(W)×22(H)×90(D)㎜
重量	210g
材質	スチール
消費電力	最大6.2W
電源	12V（100V ACアダプタ） or 8～18V
動作温度	-10～60℃
付属品	ACアダプタ・リモコン・VESAマウント

液晶モニターもお任せください。

当社ではBP8シリーズマッチする各種モニターもご紹介しています。超高輝度ディスプレイや組込用産業ディスプレイ大型のパブリックモニターなど、お客様のご要望に合った製品をご提案いたします。ご遠慮なくご相談ください。

本製品のご利用の際には、取扱説明書をよく読んだ上でご利用ください。

お問い合わせ先はこちら

株式会社ヌマタ
〒144-0051
東京都大田区西蒲田5-27-10　りそな蒲田ビル5F
TEL 03-3737-4951 FAX 03-3737-4957

インターネットの情報もご覧ください
http://www.numata.co.jp/

●カタログの内容は予告無く変更する場合がありますので、ご了承願います。　●カタログの写真や色は印刷により若干異なる場合が有ります。　●このカタログの制作は2012年10月です。

プログラマブル画像再生プレーヤー
BP8シリーズ

思いのままに画像をコントロール

接点出力カントロール
■モーションセンサー
■リレー等の接点部材
■スイッチBOX
■MOBILE Knavit
RS232C シリアルコントロール
■パソコンシリアルポート
■シリアル制御機器

bpoperオリジナル"playlist"ファイルでコントロール

サイネージプレーヤー
bpoper8

映像出力
(4系統)

■組込用ディスプレイ
<コンポジット出力>
■サイネージ用ディスプレイ
<コンポーネント出力>
■大型ディスプレイ
<HDMI出力>
■電子看板
<VGA出力>

■SDカード
■USBメモリー
再生メディア

音声出力
(2系統)

■パッシブスピーカー
<2W×2スピーカー>
■アンプ内蔵スピーカー
<ステレオLINE出力>

株式会社ヌマタ